

## 第3部 金融監督等

### 第9章 預金取扱金融機関の監督をめぐる動き

#### 第1節 平成12年度決算概要

##### I 主要16行の平成12年度決算

主要16行の平成12年度決算の概要等は、各行決算短信（5月24日及び25日に各行から発表）等によれば、以下のとおり。（資料9-1-1参照）

##### 1. 業務純益、当期利益

（1）業務純益（一般貸倒引当金繰入前の実質ベース）は、債券関係損益の改善やリストラによる経費の改善等により、約3兆4,100億円と、前年同期比約1,200億円の増益となった。

（2）当期利益は、不良債権処理の増加等により、約120億円（赤字7行）と前年同期の約7,600億円（赤字1行）から大幅に減少した。

##### 2. 不良債権等の処理状況

（1）不良債権処理額（一般貸倒引当金繰入を含む）は、約4兆2,800億円と、前年同期比約2,100億円の減少となったが、実質業務純益を8,700億円上回った。

（2）株式等償却は、5,900億円、株式等の売却益（ネット）は、約2兆1,000億円となった。

##### 3. 不良債権残高

リスク管理債権の残高は、約17兆3,900億円と、前年同期比5,900億円の減少となった。

##### 4. 自己資本比率（連結）

自己資本比率は、単純平均で11.02%となり、前年同期比0.44ポイント低下した。

##### 5. 有価証券の含み損益

有価証券の含み損益は約840億円、うち株式は約3,300億円の損、債券は約4,300億円の益となった。

## Ⅱ 地方銀行の平成 12 年度決算

地方銀行 64 行の平成 12 年度決算の概要等は、各行の決算短信等によれば、以下のとおり。

### 1. 業務純益、当期利益

(1) 業務純益（一般貸倒引当金繰入前の実質ベース）は、債券関係損益の改善やリストラによる経費の削減等により、約 1 兆 3,100 億円と、前年同期比約 200 億円の増加となった。

(2) 当期利益は、不良債権処理の増加や退職給付費用の計上により、約▲600 億円と、前年同期比約 2,100 億円の減少となった。

### 2. 不良債権等の処理状況

(1) 不良債権処理額（一般貸倒引当金繰入を含む）は、約 1 兆 3,300 億円と、前年同期比約 1,600 億円の増加となった。

(2) 株式等償却は、約 900 億円、株式等の売却益（ネット）は、約 2,300 億円となった。

### 3. 不良債権残高

リスク管理債権の残高は、約 9 兆 5,600 億円と、前年同期比約 1 兆 9,800 億円の増加となった。

### 4. 自己資本比率（連結）

国際統一基準行 14 行は、単純平均で 11.38%となり前年同期比 0.21 ポイント低下、国内基準行 50 行は、単純平均で 9.48%となり前年同期比 0.33 ポイント上昇した。

### 5. 有価証券の含み損益

有価証券の含み益は、約 2 兆 2,000 億円、うち株式は約 1 兆 2,000 億円の益、債券は約 1 兆 400 億円の益となった。

## Ⅲ 第二地方銀行の平成 12 年度決算

第二地方銀行 55 行の平成 12 年度決算の概要等は、各行の決算短信等によれば、以下のとおり。

### 1. 業務純益、当期利益

(1) 業務純益（一般貸倒引当金繰入前の実質ベース）は、債券関係損益の改善や

リストラによる経費の削減等により、約 3,900 億円と、前年同期比約 100 億円の増加となった。

(2) 当期利益は、不良債権処理の増加や退職給付費用の計上などから、約▲1,100 億円と、前年同期比約 1,200 億円の減少となった。

## 2. 不良債権等の処理状況

(1) 不良債権処理額（一般貸倒引当金繰入を含む）は、約 4,800 億円と、前年同期比約 1,000 億円の増加となった。

(2) 株式等償却は、約 400 億円、株式等の売却益（ネット）は、約 200 億円となった。

## 3. 不良債権残高

リスク管理債権の残高は、約 3 兆 6,700 億円と、前年同期比約 6,500 億円の増加となった。

## 4. 自己資本比率（連結）

単純平均で 8.03%となり前年同期とほぼ同じであった。

## 5. 有価証券の含み損益

有価証券の含み益は、約 1,500 億円、うち株式は約 40 億円の損、債券は約 2,000 億円の益となった。